

## 2 運輸部門の環境対策

### (1) モーダルシフト等推進事業の促進

平成23年度に創設された「モーダルシフト等推進事業費補助金交付制度」により、荷主企業、貨物運送事業者等、物流に係る関係者によって構成される協議会が行うモーダルシフト等の推進を図る取り組みを支援している。

なお、平成26年度は管内において支援事例はなかった。

### (2) グリーン物流等に係る普及・啓発

物流事業者や荷主企業におけるモーダルシフトや物流効率化等の環境対策を促進することを目的として、平成27年3月12日に「環境対策セミナー」を開催し、73名の参加を得た。セミナーでは、学識経験者としての環境負荷低減の考え方を神戸大学大学院海事科学研究科秋田准教授に講演いただくとともに、民間企業における環境に対する取り組みについて、フェリー事業者の宮崎カーフェリー(株)及び物流事業者の(株)キューソー流通システムによる事例紹介が行われた。

また、「関西グリーン物流パートナーシップ会議」(事務局：近畿運輸局、神戸運輸監理部、近畿経済産業局)の取り組みとして、物流の分野における環境負荷軽減に向けた取り組みを推進し、広く啓蒙することを目的とした「グリーン物流セミナー(鉄道版)」を平成26年9月29日に、「同(海上版)」を平成26年11月13日に開催するとともに、物流の総合的・一体的推進に向け、関係者により理解を深めていただくことを目的とした「物流講演会」を平成27年2月6日に開催し、459名の参加を得た。

### (3) 物流に係る交通環境教育プログラムの実施

次世代において環境問題解決の担い手となる若い人材に、物流分野における環境問題等について関心を持ってもらうことを目的として、平成26年11月29日に、神戸運輸監理部、神戸大学大学院海事科学研究科の共催により、フェリー事業者である宮崎カーフェリー(株)、内航海運事業者である神鋼物流(株)、鉄道事業者である日本貨物鉄道(株)の方々を講師に招き、「モーダルシフトへの追い風と将来展望」と題して、「交通環境教育プログラム」を実施した。

午前の講演には19名、午後のワークショップには20名の神戸大学海事科学部の学生の参加を得た。また、平成27年1月16日には、最新の物流施設である三菱倉庫株式会社神戸支店六甲冷蔵庫の見学会を実施し、学生16名が参加した。

### (4) 物流分野におけるエネルギー使用の合理化の推進

平成18年4月の「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」の改正により、特定輸送事業者に指定された一定規模以上の輸送能力を有する輸送事業者には、毎年省エネ措置の中長期

計画及びエネルギー使用量等の定期報告書を提出することが義務づけられ、管内で指定を受けた特定輸送事業者（内航海運事業者2社）から、これらの中長期計画及び定期報告の提出を受けている。